

---

第 290 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2014 年 4 月 4 日(金) 18 時 00 分~19 時 30 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 福本 誠二 氏(東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科・講師)

タイトル: ミネラル濃度調節機構とその異常

線維芽細胞増殖因子 23(fibroblast growth factor 23 : FGF23)は、骨により産生され、主に腎臓に作用することにより血中リン濃度を低下させるホルモンである。過剰な FGF23 活性により、いくつかの低リン血症性くる病/骨軟化症が惹起されること、慢性腎臓病(chronic kidney disease : CKD)患者では血中 FGF23 濃度が高値を示すことが明らかにされていた。一方、低リン血症性くる病/骨軟化症患者において過剰な FGF23 活性が惹起される機序や、CKD 患者において高値を示す FGF23 の意義については不明であった。我々は、複数の遺伝子の変異により高 FGF23 血症による低リン血症性くる病が惹起されること、また低リン血症性くる病モデルマウスにおいて FGF23 活性を阻害することが病態の改善に有効であることを明らかにした。さらに CKD 患者において高値を示す FGF23 は、高リン血症の発症に予防的に作用することを明らかにした。従って FGF23 は、健常者、および病的状態におけるリン代謝において中心的役割を果たす液性因子であることが確認された。

担当 : 硬組織疾患制御再建学講座      宇田川 信之